

県立鎌倉養護学校高等部B2年生 10月グループ実習について

県立鎌倉養護学校では、高等部2年生の秋季実習として、学校以外の場所で作業をする取組みを行っています。この取組みは、校外での働く体験や公共交通機関、施設を利用する際のルールなどを身につけ、就労に関わるモチベーションの向上や、生徒の社会順応性を高めることなどを目的にしています。

この度、鎌倉養護学校の所在地である玉縄地区で、地域の方々との交流や地域資源を活かした活動の可能性を探るため、また、地域の方が少しでも養護学校の生徒の皆さんを理解していただけるよう、玉縄支所、地区社会福祉協議会と協力し、玉縄支所会議室で校外実習を実施しました。

この実習では、ペットボトルの分別、不要書類のシュレッダー処理、切手はがしなどの作業を行いました。19日（木）には、地区社会福祉協議会の皆さんと一緒に、クリスマス用ツリーの作成も行いました。



初めての場所で作業に取り組むことは難しいのではないかと学校側の心配をよそに、生徒たちは初日から落ち着いて作業に取り組み、3日目には社協の皆さんと楽しく共同作業を行うという良い体験を積むことができました。

■概要

実施期間：平成29年10月16日（月）、18日（水）、
19日（木）、20日（金）

実施時間：10時～11時半

場所：玉縄支所会議室

対象生徒：県立鎌倉養護学校 知的障害教育部門
高等部2年生 8名

※ 知的障害教育部門はB部門という略称があるため、鎌倉養護学校では高等部Bという呼び方をします。

